

学校だより

平成30年7月2日

和歌山市立雑賀崎小学校

いよいよ7月、梅雨が明けるのももう間もなくです。今年も太陽の日差しが厳しく照りつける猛暑となるのでしょうか。

先月、児童・教職員のみんなで力を合わせて清掃したプールで、6月29日にプール開きをしました。元気にプールで遊んだり、水泳の練習をする子供たちの歓声が響くうれしい季節です。今年も教職員一同、健康・安全面に十分配慮して、無事プールの学習ができるように指導・支援の確認をしています。

先月はテレビの収録で雑賀崎地域全体が盛り上がりました。事前に聞いていたのと実際とは違うところが多々あり、残念なこともありました。しかし、子供たちにとって、めったにないできごとに出会え、大切な思い出となったことと思います。このことは連合自治会長様をはじめ地域のみなさんが、地域の宝、雑賀崎小学校・幼稚園の児童・園児に活躍の場を設けるようにと働きかけてくださったことに尽きます。本当にありがとうございました。保護者のみなさんには当日二転三転する収録の対応に応じただきありがとうございました。大変暑い中、本当にありがとうございました。

7月7日（土）は恒例の夏祭りです。子供たちと保護者のみなさん、そして地域のみなさんが笑顔で楽しめるイベントとなりますようご協力のほど、よろしくお願いします。


さて、今年度の終業式は7月20日（金）です。そして23日、24日には個人懇談会が各学年で開かれます。今年もこの個人懇談の期間を利用して1階ホールで、子供たち一人一人が「この1学期にどんなことをどのように頑張ったか」を保護者のみなさんや地域のみなさんに見ていただく「学びの足アート（跡）展」を開きたいと考えています。

「学びの足アート展」のねらいは、「学んだこと、学んでいることを他の人に発信する意欲と経験」です。子供たちが学期毎に自分が取り組んだこと、学んだことを他者に工夫して伝えるといった学習活動です。

自分の考えていることを、不特定の人に対し分りやすくまとめたり、説明したりすることは、この先、あらゆる場面で重要となってくると考えられます。相手の人数の多寡に関わらず日頃、思いを言葉にして伝え合うことの大切さは、私たち大人はうすうす気づいているでしょう。言葉にせずとも察せよは、難しいのです。今、子供たちにこの体験を経て、将来的には他者とコミュニケーションをはかり、折り合いをつけ課題を乗り越えていく力につながる種まきができればと思います。そこから更に他者との関わりに喜びを見だし、自らの人生を幸せで、彩りあるものにしてもらいたいと願うのです。

「学びの足アート展」では子供同士はもちろん、保護者のみなさんや地域のみなさんにもご覧いただきたいのです。個人懇談の折には、ぜひ子供たちの展示をご鑑賞ください。また、お祖父さん、お祖母さん、ご近所のみなさま方にご高覧いただきますと、子供たちにとって多大な励みになると思います。お誘いあわせの上、小学校にお越しいただき、ぜひ子供たちのがんばりの成果をご覧くださいますようお願いいたします。（校長 奥村 孝）

7月のおもな行事

2日(月)	安全点検 セーフティネット	
3日(火)	緊急時下校訓練	P児童指導部会 19:00～
4日(水)	避難訓練	委員会(6限)
6日(金)	スクールカウンセリング(中本先生)	
7日(土)		PTA夏まつり
10日(火)	ALT授業	移動図書館 15:20～16:20
11日(水)	おめでとう集会	クラブ(6限)
12日(木)	着衣水泳	
13日(金)	スクールカウンセリング(中本先生)	
16日(月)	海の日	
18日(水)	漢字博士検定	
19日(木)	給食終了	
20日(木)	終業式	
23日(月)	個人懇談1日目(午前) 学びの足アート展	
24日(火)	個人懇談2日目(午前) 学びの足アート展	移動図書館 15:20～16:20
25日(水)	プール開放始まり	
31日(火)	プール開放終わり	

下校時刻の変更

○7月18日(水) クラブ・委員会活動はありませんので、
4・5・6年生・・・14時55分に下校します。



○7月20日(金) 終業式 11時30分に下校します。

第64回 青少年読書感想文コンクール 課題図書を紹介します！！

小学校低学年

○ルラさんのだいくしごと
(ポプラ社)

○きみ、なにがすき？
(あかね書房)

○なずず このっぺ？
(フレーベル館)

○がっこうだって ときどきしてる
(WAVE出版)

小学校中学年

○レイナが島にやってきた！
(理論社)

○森のおくから
(ゴブリン書房)

○最後のオオカミ
(文研出版)

○すごいね！みんなの通学路
(西村書店)

小学校高学年

○奮闘するたすく
(講談社)

○こんぴら狗
(くもん出版)

○ぼくとベルさん
(PHP研究所)

○クマは生きていた！
(汐文社)

紙面の都合で、題名と出版社のみ紹介します